

令和4年度アクション・プラン【阪神南県民センター】

I 目指す姿

阪神南地域は、中央部の武庫川、東部の猪名川水系が育む豊かな自然と共生しながら個性的な都市群を形成するとともに、特色のあるものづくり産業が集積している地域であり、鉄道・高速道路等の利便性の高い交通ネットワークが構築されている。

歴史的に見れば、「阪神間モダニズム」と呼ばれる独自の市民文化を生み出すとともに、多彩な市民活動が実践されるなど、日本のライフスタイルを先導してきた地域であり、特色のある美術館、博物館等の芸術・文化施設、大学、短期大学等の教育機関、甲子園球場や尼崎スポーツの森をはじめとするスポーツ施設が充実している。

阪神南県民センターでは、少子高齢化の進展や本格的な人口減少の中にあっても、人口減少を抑制しつつ、将来にわたって活力ある地域社会を構築するため、平成27年度に阪神南地域創生戦略を策定し、これまで様々な施策に精力的に取り組んできた。

令和4年度は、コロナ禍を契機として浮き彫りとなった課題や価値観の変化にも柔軟に対応しつつ、地域の特性・強みを活かした施策展開を通じ、SDGsの視点なども踏まえて、管内3市はもとより、県民、企業、団体等と連携しながら、引き続き、誰もが住んでみたい、住んで良かったと思える「安心して暮らせる阪神南地域」の実現を目指す。

【目標】「安心して暮らせる阪神南地域」の実現（数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値)

KPI	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
住んでいる地域は芸術文化に接する機会があると思う人の割合		前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	42.5%(R1)	42.7%	45.0%			
住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合		80%	80%	80%	80%	80%以上
	80.6%(R1)	76.0%	72.8%			
観光入込客数		14,917千人	15,138千人	15,359千人	15,580千人	15,800千人
	14,475千人(H30速報)	14,727千人(R1)	7,895千人(R2)			
社会増減		転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持	転入超過の維持
	1,096人(R1)	1,663人	▲88人			
住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合		前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	53.8%(R1)	53.2%	58.9%			
災害の備えが確かなものと思う人の割合		39.1%	43.1%	47.1%	51.1%	55%以上
	35.1%(R1)	35.6%	39.8%			
治安がよく、安心して暮らせると思う人の割合		72.8%	74.6%	76.4%	78.2%	80%以上
	71.0%(R1)	79.7%	75.4%			

自転車違反摘発件数の 全県に対する割合		70.9%	65.7%	60.5%	55.3%	50%以下
	76.1%(R1)	62.6%	31.4%			
市町内総生産（実質）		3兆4,062 億円	3兆4,449 億円	3兆4,836 億円	3兆5,223 億円	3兆5,608億円 以上（H28*110%）
	3兆3,288億円 以上（H30速報）	3兆3,166 億円 （H30）	3兆3,288 億円 （R1速報）			
開業率		6.8%	—	—	8.0%	8.0%以上
	5.7%（H26～28期）	5.7% （H26～28）				

II 対応の方向性

1 文化・スポーツを振興し、にぎわいを創出する

阪神間モダニズムや日本遺産に登録された酒造りに代表される阪神地域の多様な芸術文化資源に触れる機会を提供することにより、芸術文化の魅力あふれる住み心地の良いまちとして住民の地域への愛着を育むとともに、地域と行政が連携強化を図り、地域の魅力を情報発信することにより、交流人口の拡大を図る。

2 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

多くの若者が阪神南地域に転入する一方で、乳幼児や学童期の児童とその親の世代の転出が顕著であることから、地域企業の人材確保に取り組むとともに、地域や企業と一体となった子育て支援などにより、子育て世代の定着を図る。

3 安全・安心で住みやすい地域をつくる

南海トラフ巨大地震などの自然災害から住民の安全を守るため、施設整備や防災意識の向上などの防災・減災対策に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対応に向けた体制の充実等を図るほか、ひったくり・特殊詐欺防止などの防犯対策や自転車の安全対策などを推進する。

4 新たな成長を生み出す産業力・技術力を高める

ものづくり産業の集積地としての強みを生かし、イノベーションの促進と雇用の創出を図るため、企業のネットワークを生かした付加価値の高いものづくり産業の発展を促し、SDGsの浸透など社会情勢をふまえ、地域と行政が連携強化を図り、新たな起業や中小企業の新事業展開への支援、まちなか再生に向けた商店街の活性化を図る。

III 具体的な取組

1 文化・スポーツを振興し、にぎわいを創出する

（1）阪神間モダニズム再発見プロジェクトの推進 《5,000千円》

【主な事業】

- ① モダニズム建築やここに花開いた多彩な文化を幅広く紹介するとともに、地域に息づく魅力を参加者自らが体験する魅力体験事業の開催 《新規》

- ② 阪神間モダニズムに由来する名建築、スイーツ、歴史、豊かな自然環境などの地域資源を周遊するデジタルスタンプラリーの開催《新規》

(2) 交流の拡大及びにぎわいの創出 《17,932 千円》

【主な事業】

- ① 美術館等が無料開放を行い、文化資源へ接する機会を提供する、阪神地域オープンミュージアム無料開放DAYの実施
- ② 商工会議所、商工会と連携し、地域のにぎわいを創出し、魅力をPRするイベントを支援する、地域のにぎわい創出支援事業
- ③ WebサイトやSNS等により阪神南地域の魅力を発信し、交流の拡大を図る、あにん倶楽部を活用した情報発信事業

(3) 阪神なぎさ回廊プロジェクトの推進 《6,100 千円》

【主な事業】

- ① 構想20年を記念し、阪神南ふれあいスポーツフェスタ、森のフェスタ、CANAL FRIDAY(チャンネルフライデー)などイベントを集中開催する「尼崎21世紀の森構想」策定20年記念事業の実施《新規》
- ② 「森と水と人が共生する環境創造のまち」を実現する、尼崎の森中央緑地の整備
- ③ 運河クルージングなどの水辺空間の魅力を感じるイベントの開催や周遊コースとなる尼崎運河周辺のボードウォークの改修

(4) ふるさと意識の涵養 《4,370 千円》

【主な事業】

- ① 参画と協働による地域づくり活動実践者の交流を図る、阪神南県民交流大会の開催
- ② 森づくり活動を子どもの成長とともに家族で体験できる、尼崎の森ファミリークラブ事業
- ③ 地域が抱える課題解決や地域活性化への取組を支援する、阪神南ふるさとづくり応援事業

2 安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる

(1) 若者・女性の雇用・就業支援 《1,624 千円》

【主な事業】

- ① 高校生・大学生がものづくり現場の実態、ものづくりの楽しさに触れる機会を提供するため、就業体験バスツアー、熟練技能者等の学校訪問セミナー、産業用ロボット見学・発表会を開催

(2) 出会いの機会づくり 《一》

【主な事業】

- ① 未婚化・晩婚化への対策として、1対1のお見合いの機会を提供する、阪神南出会いサポートセンターの運営

(3) 地域や企業と一体となった子育て支援 《一》

【主な事業】

- ① 都市部に暮らす未就学児の親子に、季節ごとの森の魅力を感じてもらい、森の子育てひろばの実施
- ② 子供たちに多様な体験活動の機会を提供し、親子のふれあいを深める、青少年文化・スポーツ体験事業

3 安全・安心で住みやすい地域をつくる

(1) 新型コロナウイルス感染症への適切な対応 《一》

【主な事業】

- ① 入院医療機関等の支援、検査機能の充実、相談体制・ワクチン接種体制等の整備等を推進し、医療供給体制を充実【全県事業】
- ② 社会福祉施設等が継続して事業実施するため、感染拡大に備える対策等を支援【全県事業】

(2) 防災・減災対策の充実 《2,000千円》

【主な事業】

- ① 巨大津波に備えた防災・減災対策として防潮堤の整備等を実施する、津波防災インフラ整備計画の推進【全県事業】
- ② 平成30年台風第21号により浸水被害が発生した地区の再度災害防止の緊急対策等を実施する、兵庫県高潮対策10箇年計画の推進【全県事業】
- ③ 救援物資等の備蓄・集積・搬送、応急活動要員の拠点となる、阪神南広域防災拠点の運営
- ④ 高潮や津波に対する地域防災力の向上を図るため、防災展示施設の特別公開、防災クルーズ、出前講座等を実施し、防災学習機会を充実
- ⑤ 災害時や新型コロナウイルス感染症の感染拡大期においても、事業を継続することで、企業が立ち直るため、BCP/BCM伴走型支援事業を実施【全県事業】

(3) 快適な生活環境づくり 《12,300 千円》

【主な事業】

- ① 管内市と共同し官民連携により環境にやさしい除草等の手法の確立を目指すとともに、大阪・関西万博に向けた道路の美化を推進《新規》
- ② 街路樹カルテのデータベース化により継続的な維持管理及び計画的な更新等を進める、まちの品格・風格を高める街路樹リノベーションの実施
- ③ 水質浄化施設での人工干潟づくりなど、大学とともに共同研究を行う、水質浄化プロジェクトの推進

(4) 地域活動の担い手の確保 《4,250 千円》

【主な事業】

- ① 「阪神地域ビジョン 2050」の実現に向けた地域ビジョン企画委員会の運営
- ② 学生が地域団体等と連携して地域の活性化に取り組む活動を支援する、大学生による地域活性化支援事業

(5) 安心できる医療・福祉サービスの確保 《850 千円》

【主な事業】

- ① 新型コロナウイルス等感染症対策と薬剤耐性菌の感染拡大防止を推進するため、医療機関と保健所が情報共有、対応協議等を行う、阪神南地域感染症対策事業
- ② 医療資源の有効活用に必要な病院間の連携強化方策等や小児救急医療、二次輪番体制の課題を検討する、圏域医療確保対策事業
- ③ 在宅医療・介護連携の充実のため、関係機関（医療・介護・福祉）の連携体制を強化する、地域包括ケアシステム推進支援事業
- ④ 安定的・継続的に良質な医療を提供するための、県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編整備【全県事業】
- ⑤ 肢体不自由児者の機能維持等を図る拠点施設として、専門的な診療・リハビリ等を提供する、県立障害児者リハビリテーションセンターの運営【全県事業】

4 新たな成長を生み出す産業力・技術力を高める

(1) 起業しやすい環境づくり 《950 千円》

【主な事業】

- ① 創業に関する知識を持たない大学生等を対象とした出前講座やより効果的な創業支援のあり方を協議する促進ネットワーク会議を開催する、若者向け創業支援の実施
- ② 尼崎市と連携のもと、活躍する起業家を支援する、起業プラザひょうご尼崎の運営【全県事業】

(2) 新事業展開への支援 《7,021 千円》

【主な事業】

- ① 特に優れた先端技術を「リーディングテクノロジー」として認定し、コア技術の高度化や新技術の実用化を支援する、阪神南リーディングテクノロジー（LT）実用化支援事業
- ② 国際フロンティア産業メッセへの共同出展など、販路開拓を図るものづくり中小企業を支援

(3) 商店街等の活性化 《500 千円》

【主な事業】

- ① 大学生の若い感性を生かした商店街の活性化を図るため、大学生が商店街と連携して実施する活動を支援する、大学生による商店街活性化事業

注：予算額は、阪神南県民センター独自の地域創生に寄与する施策のみを計上